

思春期の子ども達をサポートしている学校や支援機関の関係者の方へ

# つなぐ・つづける・予防する



サポートブックに関するお問い合わせはこちらまで



医療法人 静光園  
カウンセリングルーム  
フリースクール  
サポート校

## ソフィア

〒836-0862 福岡県大牟田市原山町1-6-3F  
TEL 0944-52-8889 FAX 0944-52-8893  
E-mail sophiaomuta@yahoo.co.jp  
HP <http://www.sophiaomuta.com/>



医療法人 静光園  
カウンセリングルーム  
フリースクール  
サポート校

## ソフィア

はじめに .....	1
<b>1 ソフィアにおける社会的自立に向けた継続した支援モデル</b> ...	3
<b>2 思春期に起こりやすいこころの問題</b> .....	4
① 発達障害	
② 適応障害	
③ 強迫性障害	
④ 社会恐怖	
⑤ 摂食障害	
⑥ 子どものうつ病	
⑦ 子どもの統合失調症	
⑧ トラウマ	
⑨ 自傷行為	
⑩ 子どもの自殺	
⑪ こころの問題がみられたら？	
<b>3 中学卒業後の代表的な支援方法について</b> .....	16
① カウンセリング	
i) 定期カウンセリング	
ii) フォローアップカウンセリング	
iii) コンサルテーション	
iv) 訪問カウンセリング	
② 居場所支援	
③ 通信制高校サポート校	
④ 就労支援	

<b>4 様々な支援方法を利用した事例</b> .....	23
① 進路が未定のまま中学校を卒業したA君のケース	
② 不登校経験を経て高校進学が決まったBさんのケース	
③ 自宅にひきこもっているC君のケース	
<b>5 支援機関の紹介</b> .....	28
① 学校に所属している人が利用できる支援者・支援機関	
② 誰でも利用できる支援機関	
③ 支援機関の連携・協働	
<b>6 代表的な支援者&amp;支援機関の役割</b> .....	32
<b>7 支援機関の利用事例</b> .....	34
① 不登校傾向がみられるDさんのケース	
② 虐待の疑いがみられるE君のケース	
<b>8 代表的な支援内容別相談・支援機関一覧</b> .....	37
<b>9 文献</b> .....	40
<b>10 索引</b> .....	41

## はじめに

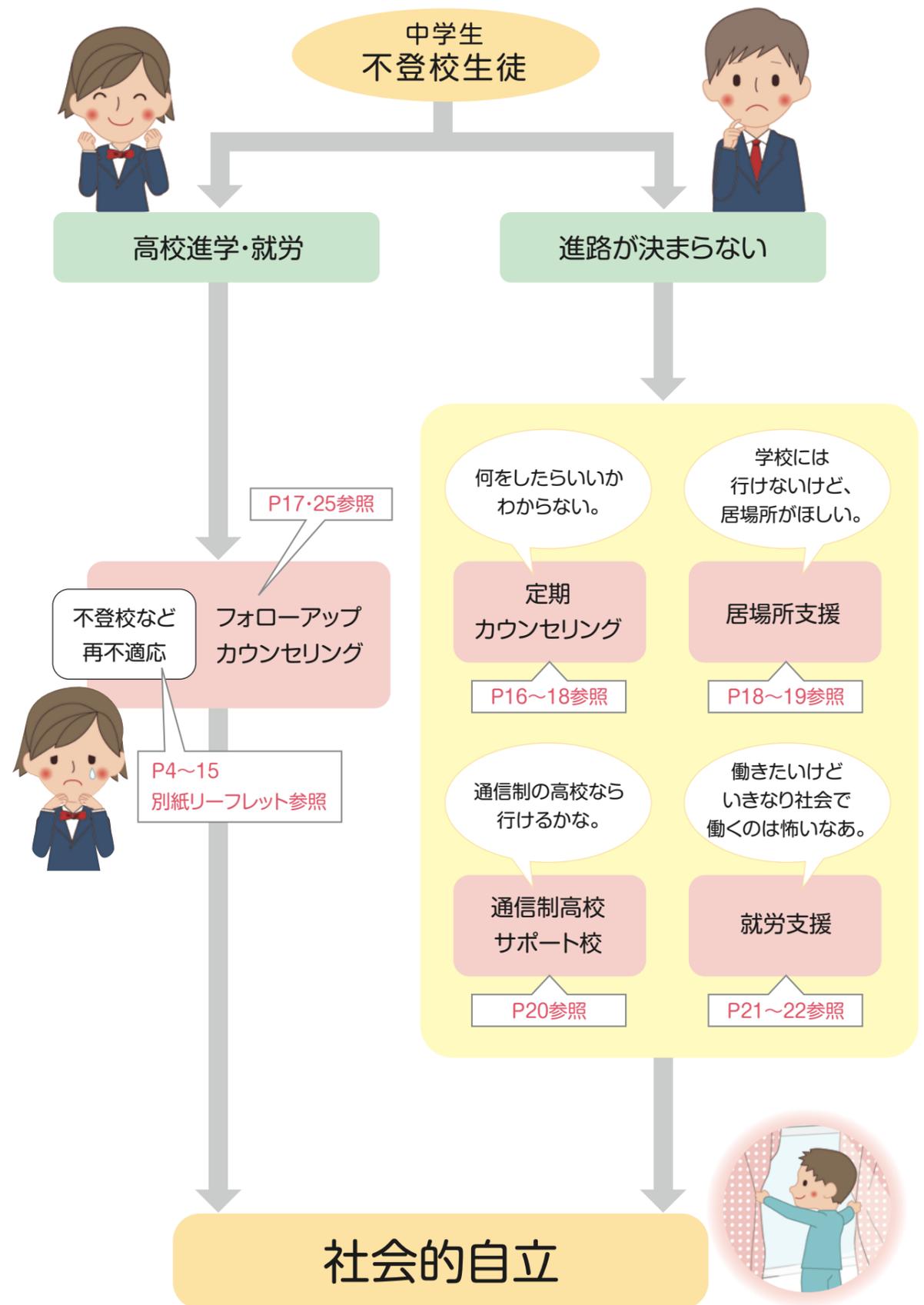
文部科学省の「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（平成22年）」によると小中学生の不登校の児童生徒は11万4,971人で、全小中学生の中で占める割合は1.14%です。そして、高校生の不登校生徒は5万3,084人で、全高校生の中で占める割合は1.66%にのぼり、合計17万人もの子どもたちが学校に行けない状態にあります。

同調査における「高等学校における中途退学等の状況」を見てみると、中途退学者は5万3,245人、その内、不登校生徒は1万6,626人で、その割合は31.2%を占めています。不登校生徒の31.3%は、中途退学に至っています。また、小中学生では児童相談所や教育支援センターなどの学校内外の相談機関等を利用していない児童生徒は34.6%にとどまっているものの、高校生になると実に46.5%の生徒がどこにも相談せずに学校に行けない状態です。さらに、中途退学者の中で、進路変更で今後が明確な者や病気・けが・死亡など明らかな事由がある者は38%で、残りの62%の生徒は行き先も決まらないまま辞めているのが現状です。

また、内閣府が平成22年7月に報告した「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」では、ひきこもりの人は「不登校を経験した」という人が23.7%、これは一般群の5.4%より明らかに多く、「ひきこもりになったきっかけ」も「不登校（小・中・高）」が11.9%を占めています。

（次ページへ）

# 1 ソフィアにおける社会的自立に向けた継続した支援モデル



このように、中学までに不登校を経験した者が、次の所属を見つけられずにひきこもりに移行したり、一旦高校に進学しても再度不登校になってしまったりするケースも多く見られます。また、高校生の不登校における問題は深刻で、小中学生に比べ、不登校を取り巻く環境が整っていないことから、相談に繋がらず、次の所属が決まらないまま高校を辞めてしまい、ひきこもりに移行していくこともあります。また、思春期に不登校などにより社会との関係が希薄になることは、人格を形成する上で重要な問題となり、職場不適応などさらなる問題を生みやすくしてしまいます。

そこで、私たちは不登校経験者の中学卒業後の支援に焦点を当て、中学卒業後も子どもたちが社会的に自立するまで、継続して関わっていくことで、中学卒業後に居場所を失うことや高校で再度不適応になることを予防できるのではないかと考え、支援や研究に取り組んできました。その取り組みから社会的自立に向けた継続した支援モデル（P3に記載）を私たちは考えました。そして、この支援モデルを多くの人に活用してもらうためにサポートブックにまとめました。

このサポートブックは、そういった子どもたちを理解し、子どもたちを取り巻く人々がどのように子どもたちをサポートしたらよいか、子どもたちが深い闇に落ち込まないようにどのような予防ができるかを具体的に書いています。

不登校の子どもたちが社会的自立に向けて歩む上で、このサポートブックがその一助となれば幸いです。

ソフィアスタッフ一同

## 2 思春期に起こりやすいところの問題



思春期は…

子どもから大人へと変わっていく時期。  
“こころ”と“からだ”が最も発達する時期。  
声変わりや初潮といった第二性徴の時期。  
そして、反抗期など精神的に不安定な時期。

### 思春期の心理

1. 自分の外見や行動を常に意識するようになる。
2. 「周りからどのように見られているか?」「自分は劣っていないか?」「自分は何か?」と比較・競争し、ちょっとしたことで劣等感を感じてしまう。
3. 「愛されるため」「認められるため」に何事においても完璧を求めようとする。
4. 親のやり方に反発し、自立しようとする。
5. 性を意識する。特に異性の親を毛嫌うようになる。
6. 勝手にさせてほしいが、関心は持ってほしいといった矛盾した気持ちを持ち、また、親の言うことが正しくても素直に聞けないなど矛盾した気持ちに葛藤する。

など

こういった感情から、“こころ”と“からだ”がバランスを失い、不安や動揺を感じ、一時的に**精神の不調**や**行動の異常**が見られることがあります。

また、思春期は**精神的な病を発症しやすい時期**でもあります。

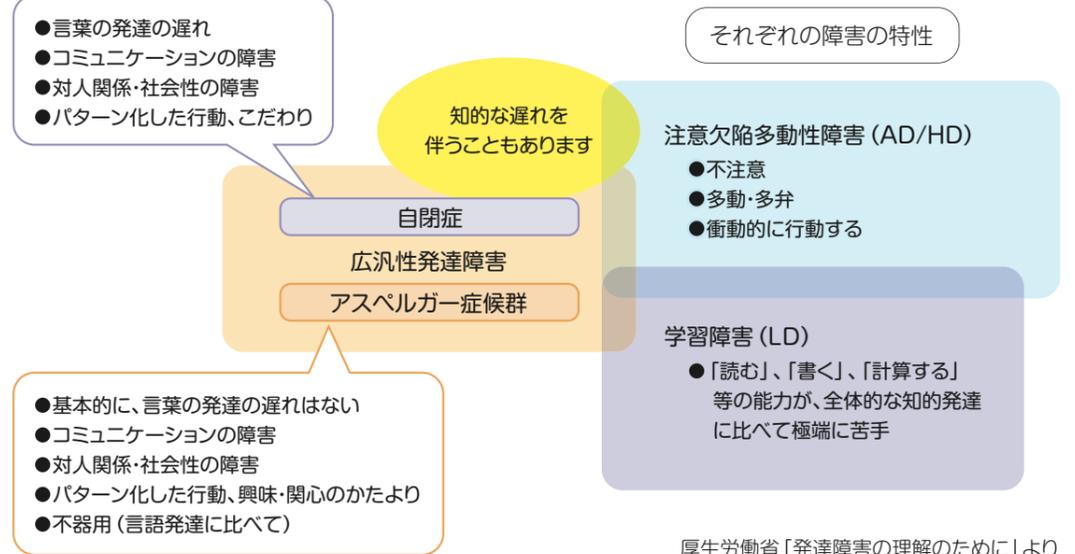
そこで、ここでは思春期に起こりやすいところの問題にどのようなものがあるかをご紹介します。

こころの問題は早めの対応が大切です。思春期に起こりやすいところの問題を知って、早めに対応しましょう。

## 1 発達障害

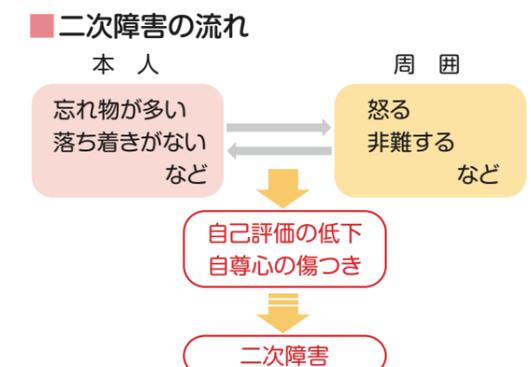
発達障害とは、幼い時期から発達の仕方によらつきが見られ、発達の遅れている部分があるため、学習や生活が困難となる障害です。文部科学省の平成14年の調査によると、通常の学級に在籍する子どもの**6%**は、何らかの発達障害の特徴に当てはまると言われています。発達障害の特徴を持っている人は大勢いますが、そのことで本人や周囲が困っているとき、その人の特徴をふまえた対応が必要となってきます。「発達障害かも?」と感じたら、自分で診断せず、専門家に相談しましょう。

### 〈発達障害ってどんな障害?〉



### 〈発達障害の二次障害〉

二次障害とは、子どもの抱えている発達障害の困難さを周囲が理解して対応しきれないため、本来抱えている障害とは別の二次的な情緒や行動の問題が出てきてしまうものです。二次障害には、**うつ病、強迫性障害、チック、不登校、自傷行為**などがあります。



## 2 適応障害

適応障害とは、ある社会環境において明らかなストレスを感じ、その反応として様々な症状がおこるため、日常生活や学業などに支障が生じ、今までのような生活ができなくなるストレス性の障害です。

### ●生活上みられる様々な出来事



### 〈様々な症状〉

不安になる

イライラしやすい

頭痛や腹痛

眠れない



他、意欲の低下、憂うつ、絶望感、恐怖、あせり、対処能力の低下、心配、神経過敏、涙もろくなるなど人によって様々な形であらわれます。

これらの症状が続くと、

遅刻、欠勤が続き、不登校やひきこもりに至るなど、日常生活に支障をきたす場合もあります。上記の症状に思い当たるときは一度専門家に相談してみましょう。



## 3 強迫性障害

強迫性障害は思春期から青年期にかけて発症することが多いと言われ、決して珍しい病気ではありません。

この障害は自分の意思に反して、不適切な考えが頭のなかに繰り返し思い浮かび（強迫観念）、強い苦痛や不安を起こしたり、そうした苦痛や不安を打ち消すために同じ行為を繰り返したり（強迫行為）するものです。下記の症状に思い当たるところがあって、本人や周囲が悩んでいる場合は、一度病院に相談するのがいいでしょう。薬がよく効く場合もあります。

### 〈例えばこんなこと（強迫症状）はありますか？〉

もうきれいなはずなのに  
何度も手洗いしてしまう。

鍵をかけたかどうか心配で  
何回も確認してしまう。

「自分で自分を傷つけそう」  
「自殺しそう」で怖くなる。



他人を間違えて傷つけて  
しまうのでは?と不安になる。

4や9など、特定の数字を不吉だと感じ、  
どのような場面でもその数字を  
回避しようとする。



など

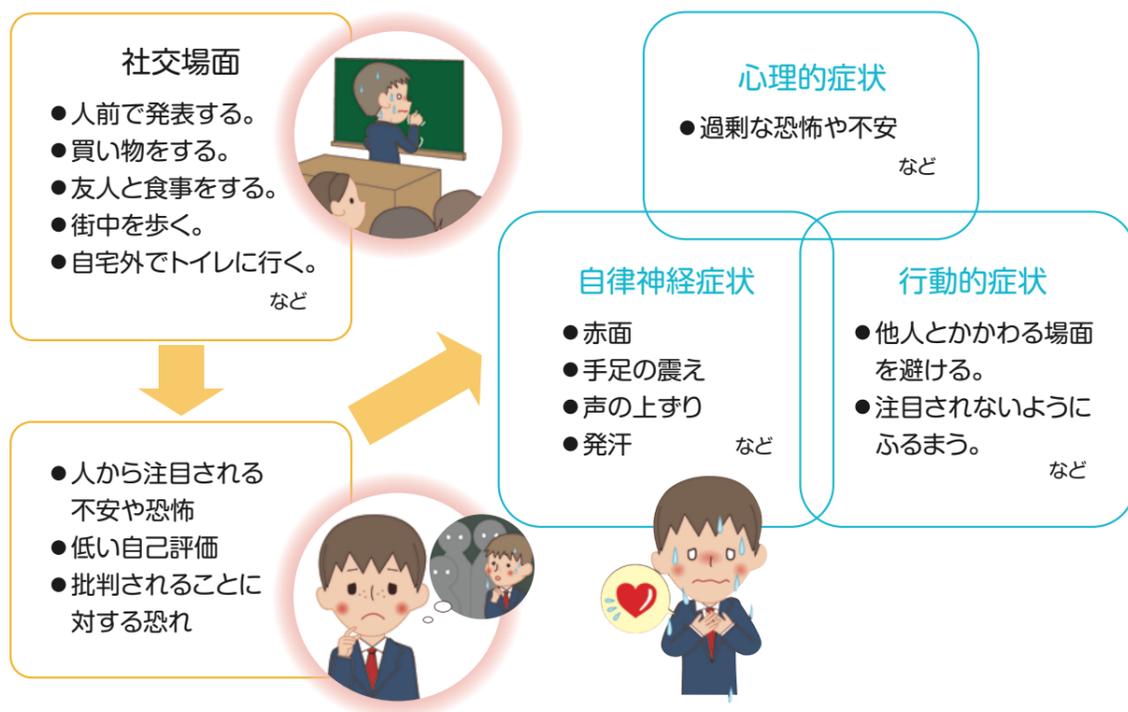
これらの症状が続くと、

強迫症状をひきおこす状況を避けようとして段々家から出られなくなったり、強迫行為をやめることが出来なくなったりして、日常生活に大きな支障をきたすことがあります。また、中には家族や友人などにも強迫行為を強要する人もいます。そうすると本人も周りの人も疲れ果ててしまいます。

## 4 社会恐怖

社会恐怖は、思春期から青年期にかけて発症する病気といわれています。この病気は、比較的少人数の集団の中で他の人から注目されることを恐れ、社交場を回避するようになります。社交場面は、食事や人前での発言など限定されたものから、家族以外の他者との交流全般にわたるものまで様々です。

### ● 社会恐怖の症状



### Q uestion パニック障害とどう違う？

**A nswer** パニック障害も思春期の子どもによく見られるところの病気の1つです。この病気は、場所や時間に関係なく突然何の理由もなく、パニック発作（動悸、発汗、息苦しさなど）が起こり、それにより「死んでしまう」「おかしくなってしまう」などと考えます。

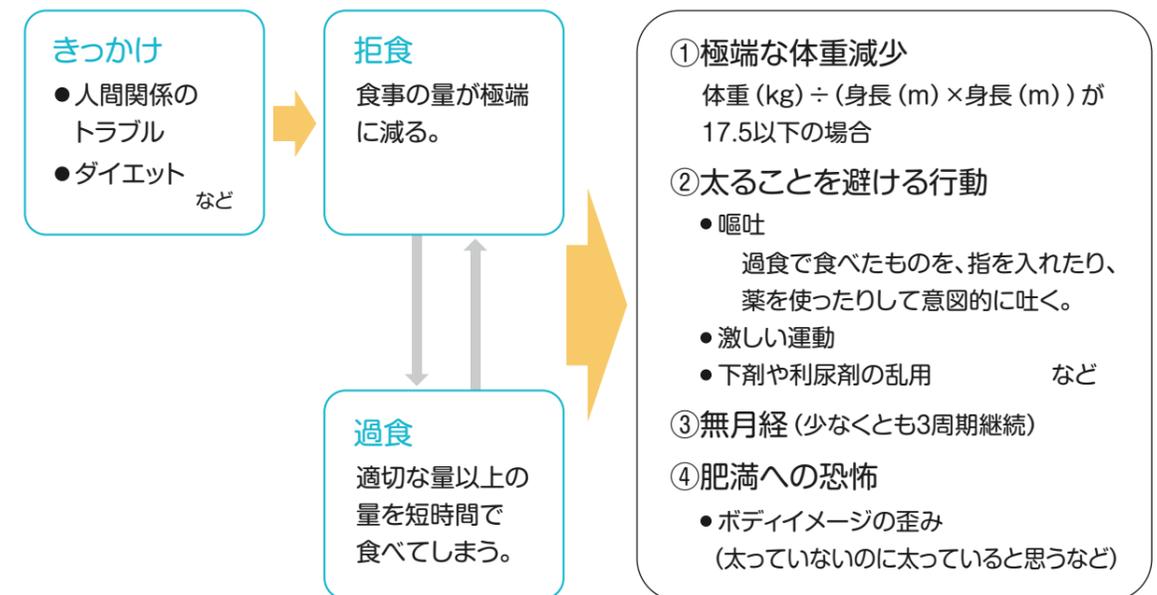
パニック障害ではパニック発作が不安の対象となるのに対し、社会恐怖はあらゆる社会的場面やある特定の社会的場面（「人前で発表する」など）が不安の対象となります。

## 5 摂食障害

摂食障害は、一般的に思春期の女子に多くみられる病気で、ダイエットをきっかけに発症することもあります。摂食障害には、**神経性無食欲症**、**神経性大食症**、**むちゃ食い障害**の3種類があります。主な症状に、拒食や過食といった食行動の異常があり、それによって、下記のような状態に陥り、最悪の場合、**命に関わる**こともあります。

### 神経性無食欲症

食行動の異常の結果、正常以下の体重、太ることへの恐れ、月経の停止、病気であることの否定などがみられる。



### 神経性大食症

神経性無食欲症にみられる症状の中で、極端に痩せたり、月経がなくなったりしないもの。

### むちゃ食い障害

苦悩をもたらす出来事に対する反応として、肥満になるほどの過食が起こる。そのことに悩み、抑うつになることもある。

### 対応のポイント

摂食障害には家族の理解と協力が最も大事です。拒食や過食そのものよりも、本人の心理状態や感情に十分配慮していく必要があるでしょう。また、拒食だからと食事を強制したり、過食だからと食べ物を隠したりすると逆効果の場合があります。

## 6 子どものうつ病

子どものうつ病は非常にわかりにくいと言われています。うつ病と言えば、元気がなく、うなだれていると思われがちですが、子どものうつ病は比較的元気で、不登校やひきこもりといった別の問題に隠れている場合が多いからです。

うつ病の場合、**治療を受けること**が何より大切です。見過ごされがちな**子どものうつ病の中心となる症状**とうつ病診断の目安となる**子ども用の抑うつ評価尺度**をのせています。もし、当てはまる場所があれば、自分で判断せず、お医者さんに相談してみましょう。

### 〈子どものうつ病の中心となる症状〉

#### 身体症状

- 身体がだるい
- 食事の量が減る
- 途中で目が覚める・早朝に目が覚める
- 学校が休みの日も朝がだるく、夜は楽になる

など

#### 精神症状

- 興味がもてない
- やる気がでない
- 集中できない
- 頭が働かない

など

### 〈バールソンの自己記入式抑うつ評価尺度〉

わたしたちは楽しい日ばかりでなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんがこの1週間、どんな気持ちだったか、当てはまる場所に○を書き入れてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。

チェック項目	いつも そうだ	ときどき そうだ	そんな ことない
1. 楽しみにしていることがたくさんある	0	1	2
2. とても良く眠れる	0	1	2
3. 泣きたいような気がする	2	1	0
4. 遊びに出かけるのが好きだ	0	1	2
5. 逃げ出したいような気がする	2	1	0
6. おなかが痛くなることがある	2	1	0
7. 元気いっぱいだ	0	1	2
8. 食事が楽しい	0	1	2
9. いじめられても自分で「やめて」と言える	0	1	2
10. 生きていても仕方がないと思う	2	1	0
11. やろうと思ったことがうまくできる	0	1	2
12. いつものように何をしても楽しい	0	1	2
13. 家族と話すのが好きだ	0	1	2
14. こわい夢を見る	2	1	0
15. 独りぼっちな気がする	2	1	0
16. 落ち込んでいてもすぐに元気になる	0	1	2
17. とても悲しい気がする	2	1	0
18. とても退屈な気がする	2	1	0

16点以上で抑うつ傾向あり

## 7 子どもの統合失調症

子どもの統合失調症は、10歳以下では稀であり、思春期頃から発症する病気と言われています。

子どもの統合失調症でも大人と同様、非現実的な考えが浮かんできたり、聞こえるはずのない声が聞こえたり、見えないものが見えたりと、日常生活に大きな障害となる症状が見られます。

子どもの統合失調症の**特徴的な症状を理解し、子どもの様子や行動の変化に気づくこと**で早期に治療につなぐことができ、深刻化を防げます。

### ● 統合失調症でよく見られる特徴

#### 思考面

- 根拠がなく、非現実的で風変わりなことを言う。
- 話の内容にまとまりがない、話が急にとぶ、つじつまの合わないことを言う。
- 聞こえるはずのない声が聞こえたり、見えるはずのないものが見えたりする。
- 「誰かに操られている」と訴える。



#### 感情面

- なにをするにも意欲が湧かない、無気力である。
- 人に会いたくないと言い、人と関わる回数が減る。
- 表情や仕草など感情表現が乏しい。
- 周囲の出来事に関して、興味・関心を示さない。



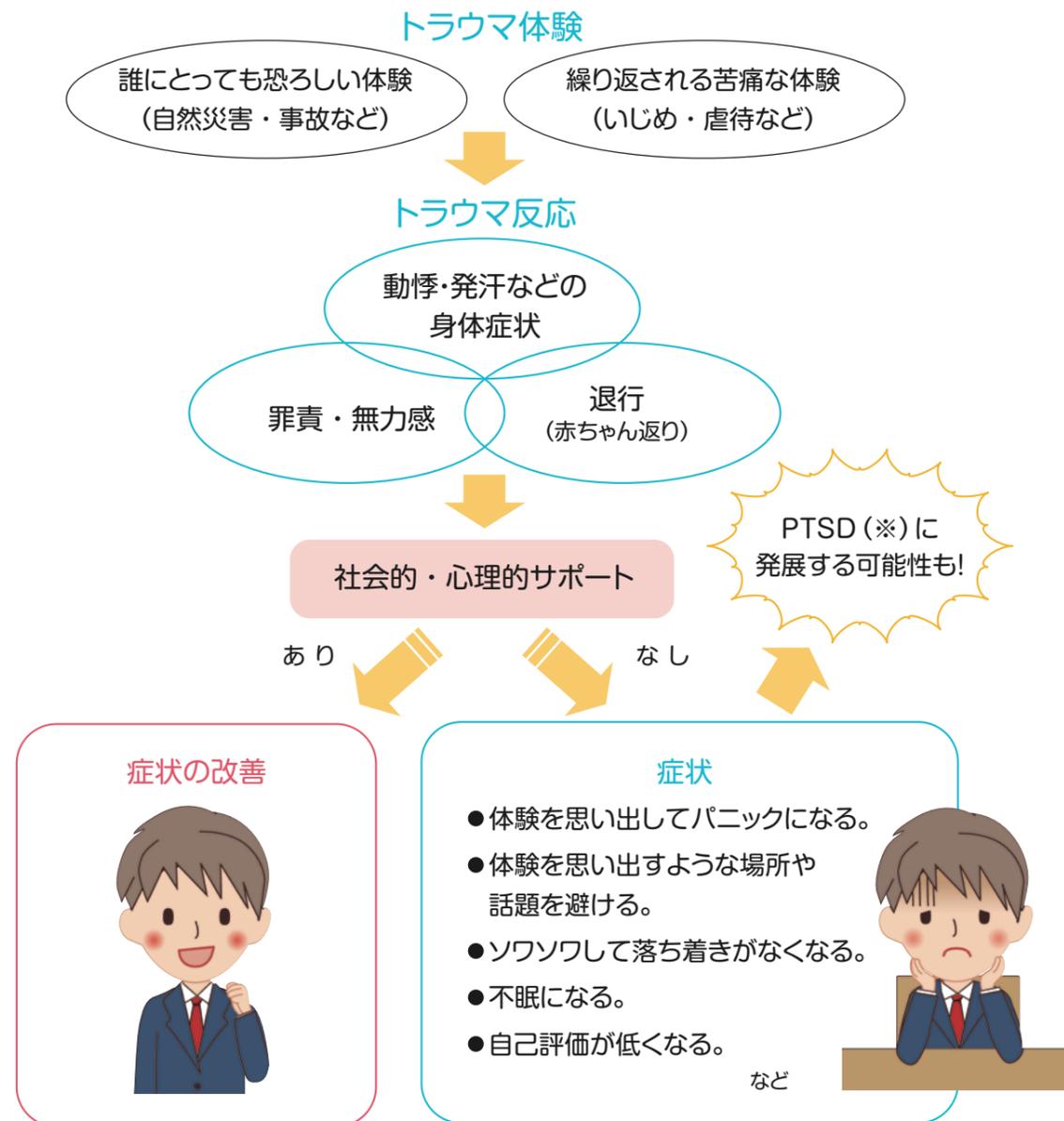
#### 行動面

- 部屋で変な姿勢のまま長時間いる。
- 誰かとしゃべっているような独り言をブツブツいつている。
- おかしくもない場面で一人笑っている。
- 予想できない奇妙な行動をする。(急に踊りだす、裸で外に飛び出すなど)

## 8 ト라우マ

子どものトラウマになりうるエピソードは、大きく分けて2つあります。

①自然災害、犯罪被害、事故など、**誰にとっても恐ろしい体験**や、②いじめや虐待など、**繰り返される苦痛な体験**です。



※PTSDとは、上記のトラウマ体験の後、数週間から数ヶ月にわたる潜伏期間を経て、上記のような症状がみられる病気です。中には、この病気で長期間苦しむ人もいます。

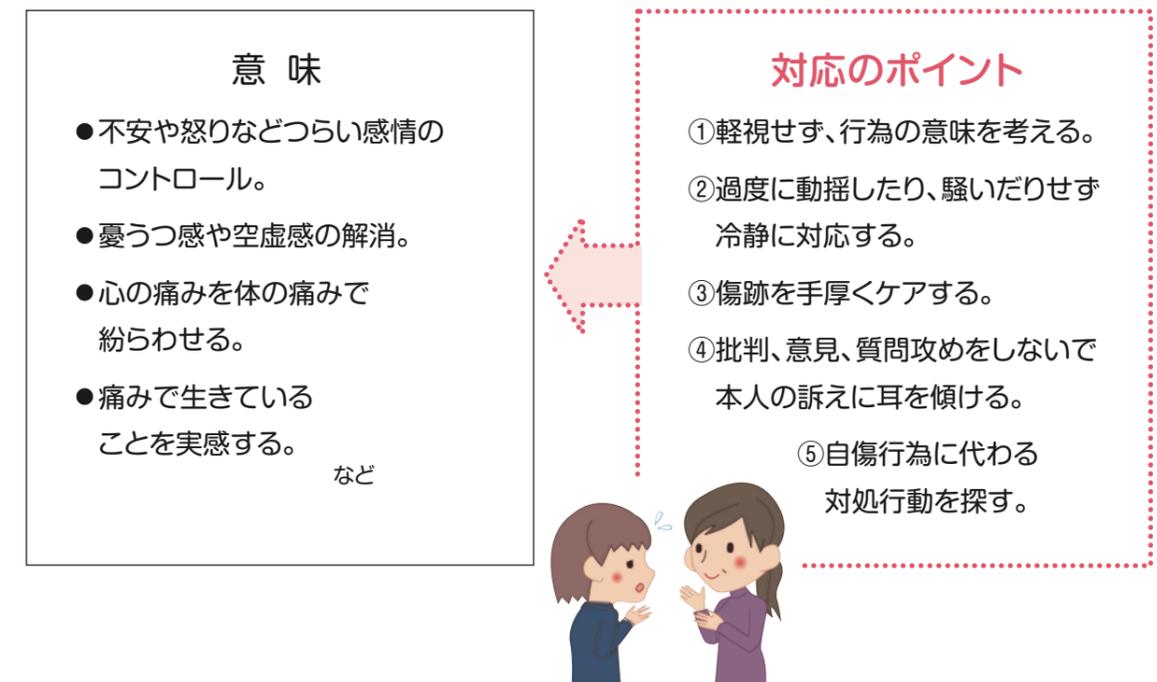
## 9 自傷行為

自傷行為とは、自分で自分の身体を意図的に傷つける行為です。思春期の子どもにみられやすく、特に女子によくみられると言われています。

### 〈自傷行為の種類〉

- 手首や腕など、体の様々な部分を刃物で切る。
  - 皮膚に針を刺す。
  - たばこの火をおしつける。
  - 過食や過度な食事制限。
  - ピアスの穴をいくつもあける。
  - 壁に頭をぶつける。
  - 薬を大量に飲む。
- など

「関心をひくため」と思われがちですが、悩み苦しむ子どもたちからのひとつのメッセージであり、その意味を理解することが大切です。様々な意味があるため、対応も一概には言えませんが、以下のポイントをおさえて対応しましょう。



ただし、背景に精神疾患が潜んでいることもあるため、重篤な場合や対応が難しい場合は、早めに医療機関・専門機関に相談しましょう。

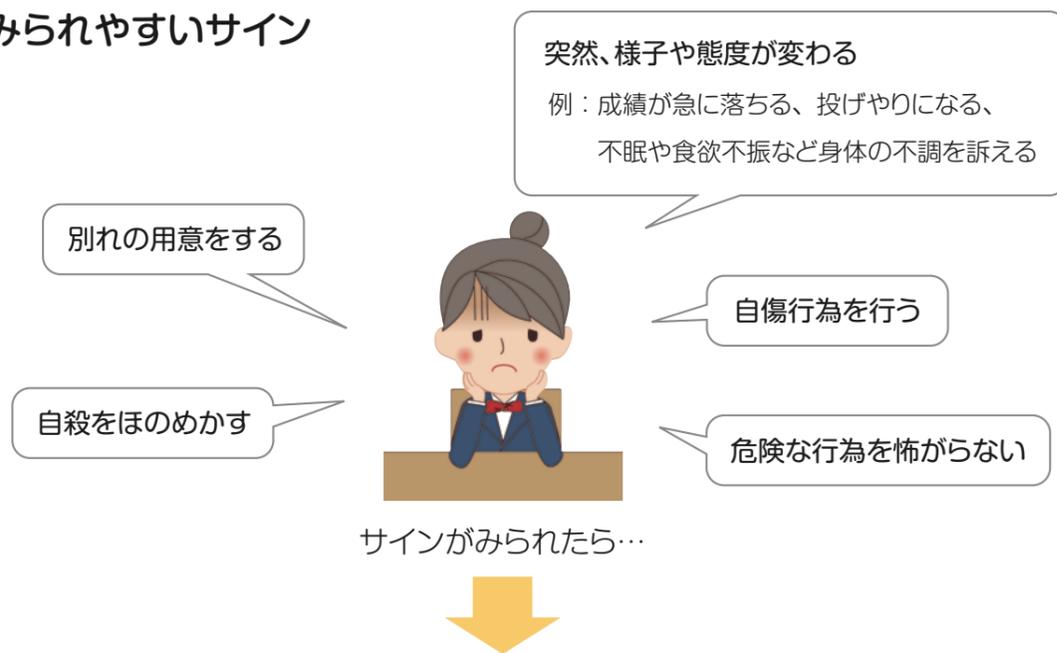
## 10 子どもの自殺

自殺は、特に中高年の問題として捉えられがちですが、子どもの自殺者数も毎年300人前後で推移しており、決して少なくありません。

子どもの自殺は、①小さなきっかけで、②衝動的に、③確実な手段で行われることが特徴です。また、友人の自殺や自殺報道からの④影響されやすさ、死を現実的に考えられなかったり、美化したりする⑤死生観からも、自殺に至りやすいといわれています。

そのため、以下のような自殺前にみられやすいサインを見逃さないようにして、迅速に対応することが大切です。

### ● みられやすいサイン



### 対応のポイント

- ①「死にたいと思っていない？」などと確認する。
- ②「あなたが必要だ」、「死んでほしくない」ということを伝える。
- ③「頑張れ」と励ましたり、意見したりせずに、じっくり話を聞く。
- ④いつでも力になることを伝え、一人にしない。

聞く側も、一人で抱え込まないようにすることが大事です。信頼できる人や専門機関などに相談し、連携してかかわりましょう。

## 11 こころの問題がみられたら？

ここにあげたものは「思春期に起こりやすいこころの問題」の中でも特に見られやすいものです。これら以外にも、思春期に起こりやすいこころの問題はまだまだ、たくさんあります。

「もしかして、この子は〇〇かもしれない。」と思ったら、まずは**専門家(専門機関)**に相談してみてください。

### 専門家(専門機関)とは…

- 精神科・心療内科のある病院・クリニック
  - 心理相談・精神保健相談を行っている機関 など
- ※詳しくは、相談・支援機関一覧(P37～39)をご参照ください。

### ● 子どもが専門機関(病院や相談機関)に行きたがらない

無理に行かせようとする高圧的になったり、干渉的になったりするため、まずは、子どもの苦しさに共感し、「苦しさを和らげてくれる病院(相談機関)があるみたいだけど、行ってみる？」と本人に相談するような形で言うことも一つの方法です。どうしても子どもが行きたがらない時は**家族だけでも受診する(相談する)**ということも大切です。家族が通い続けることで、その子どもも家族が真剣に自分のことを考えてくれていると思えるでしょう。

### ● 精神科の病院って、怖い？

精神科は暗く、怖いところという偏見が強く、受診することに抵抗を感じる人も少なくありません。そのため、中々、受診に至らず、そうこうしているうちに重症化したり、苦しみが続いたりします。イメージとは違い、明るい雰囲気、気軽に相談できるところも多くなっています。ホームページや周りの評判などを参考にし、市町村にある役所や保健所に尋ねると、病院の情報など詳しく教えてもらえます。

# 3 中学卒業後の代表的な支援方法について

ここでは、P3にあった「ソフィアにおける社会的自立に向けた継続した支援モデル」の中にある、各支援方法を中心に、**どのようなものなのか、どのような人に適しているのか、どういうところで行われているのか**、ということを説明していきます。

## ● どのような支援方法がありますか？

- カウンセリング
  - 定期カウンセリング
  - フォローアップカウンセリング
  - 訪問カウンセリング
  - コンサルテーション
- 居場所支援
- 通信制高校サポート校
- 就労支援



## ● それぞれどのような支援方法なのか？

下記から、それぞれについて詳しく説明します。

### 1 カウンセリング

#### ● どのようなものですか？

いろいろな問題や悩み事を、カウンセラーと一緒に話すことで、気持ちを整理したり、問題解決に取り組んだりします。なお、カウンセリングで話した内容は、外に漏れる事はありません。

※親子で一緒に行うこともできます。

## ● どのような種類があり、どのような人に適していますか？

### i) 定期カウンセリング

定期的なペースで、問題が解決したり、状況が改善したりするまでの間、カウンセリングを行います。



#### 適している人

様々な不適応に関する悩みや問題などを抱えている人全般が対象です。



### ii) フォローアップカウンセリング

問題が解決したり、状況が改善したりした後でも、そのままカウンセリングをやめてしまわず、不定期にカウンセリングを続けます。このように**継続して関わっていく**ことが再不適応を防ぎます。



#### 適している人

今後どうするか決める事ができたり、復学や進学できた等、問題解決や状況改善した人に適しています。



### iii) コンサルテーション

子どもと関わる人に、カウンセラーの立場から、子供への具体的な対応を教えたり、必要な情報を提供したりします。



#### 適している人

不適応をおこしている子どもの保護者や教師など、子どもと関係の深い人物が適しています。

#### iv) 訪問カウンセリング

カウンセラーが自宅まで訪問し、カウンセリングを行うものです。長期になることが多いですが、**あきらめず根気よく**支援を続けていくことが大事です。

#### 適している人

ひきこもりなどの理由で、相談したいが、本人が外に出る事ができないといった場合に適しています。



#### ● どこで受けることができますか？

医療機関、カウンセリングルーム、フリースクール、児童相談所などで行っています。

## 2 居場所支援

#### ● どのようなものですか？

居場所が提供され、その中でゆっくり過ごすことができます。比較的自由な枠組みの中で、好きなことができます。

#### ● 居場所支援でよく行われている活動や取り組み

##### 体験活動

- 調理活動
- スポーツ
- 手芸・工作
- 交流会
- 陶芸 など

##### 野外活動

- キャンプ
- ピクニック
- 社会科見学 など

##### ミーティング

定期的にメンバー間で話し合いの場を持ち、計画などをたてる。

##### SST

あいさつや声のかけ方など社会生活に必要な技能を練習する。

##### 家族会

定期的に保護者同士で話し合いの場を持つ。

#### ● どのような人が適していますか？

中学卒業後、進路も決まらず、何もせず、家で寝て過ごしていることが多い。



家しかいるところがない。息苦しいけど他に行く場所もない。

前から集団が苦手。慣れたいし、友達も欲しいけど怖い。

このように、「家以外に居場所が欲しい」、「仲間が欲しい」、「でも対人面が不安」といった人は、居場所支援がいいでしょう。生活空間の狭まりを防ぎ、同世代との交流ができる場となります。

#### ● どこで行われていますか？

民間のフリースクールや適応指導教室などで行われています。

### 3 通信制高校サポート校

#### ● どのようなものですか？

通信制高校に籍を置く生徒が高校を確実に卒業できるよう、学習や生活面をサポートする民間の教育機関です。レポート指導や教科指導、スクーリング指導などを行っています。その他に個人のニーズ（入試対策、高卒認定試験、基礎学習の支援）にあわせた学習支援を行っているところもあります。

#### ● どのような人が適していますか？



このように、「復学したい」、「高校には行けないけど、高卒の資格は取りたい」などの気持ちはあるものの、対人面が不安だったり、勉強や毎日学校に行く自信がなかったりするなどの理由から諦めている人は、通信制高校サポート校がいいでしょう。

#### ● どこで行われていますか？

サポート校は全国各地にあり、インターネットでも簡単に検索ができます。主に学習塾、予備校、専門学校などが中心です。フリースクールと併設しているところもあり、それぞれの特色を活かして運営されています。

### 4 就労支援

#### ● どのようなものですか？

就労を希望する子どもに対し、個人のレベルにあわせて職業的なスキルの習得などを支援します。

#### ● 就労支援でよく行われている活動や取り組み

#### 就労体験

就労をする前に仕事の体験ができるものです。コーチの付き添いのある環境の中で、一定期間就労体験を行います。

#### 就労訓練

実際に賃金をもらいながら、より就労に近い形で訓練するものです。

- パン屋
- 農作業
- クリーニング など

#### 技能講習

職業スキルを身につけるため、パソコンやマナーなどの技術を学べます。

- 面接技法
- 履歴書の書き方
- 経理
- アサーショントレーニング など

#### その他

- ハローワークへの同行
- ボランティア活動などへの参加
- 企業の見学 など

## 4 様々な支援方法を利用した事例

### ● どのような人が適していますか？



このように、「バイトをしてみたい」、「生活リズムを整えて仕事に備えたい」など、働きたい気持ちがあり、就労について興味がある人は就労支援がいいでしょう。

### ● どこで行われていますか？

若者サポートステーションや職業訓練校などで行っています。

### 1 進路が未定のまま中学校を卒業したA君のケース

対人不安が強く集団が苦手なA君。進路が決まらないまま中学校を卒業し、特に何もせずに家で過ごしています。



A君

高校には行きたい気がするけど、行く自信がないし、何をしたいのかよくわからなくて家でゲームをしたり、寝ていることが多い。そんな自分に嫌気がさして気分が沈んだり、イライラしてしまう。誰かに相談したいけど、親だとケンカになるし、友達には言いにくいし、どこに相談すればいいのかわからない。



児童相談所、医療機関、NPO法人や民間の相談機関などがあります。

(詳しくはP37～39参照)

A君は民間のカウンセリングルームで、**定期カウンセリング (P17参照)** を利用することにしました。

カウンセリングで今抱えている不安や悩みについて話ることができ、少しすっきりしました。また、今後どうしたいのかについても話し合いました。



昼間、家に居づらいから、家以外の居場所がほしい。高校に行くかどうかはまだ迷っている。集団に入れるようになりたい。できれば友達がほしい。



## 2 不登校経験を経て高校進学が決まったBさんのケース

中学校の時に不登校の経験のあるBさん。しかし、カウンセリングや担任の支援など、周囲の助けもあり、高校に進学することが決まりました。



Bさん

中学校の時、一時的に不登校になったこともあるけど、色々な人に助けってもらって、私ももうすぐ高校生!  
今は、問題があっても自分で対応できるし、カウンセリングを続けなくても大丈夫かな。

ちょっとまって!



カウンセラー

高校生になると、とまどうことも多いと思うよ。  
だから、何かあった時に相談できるようにしておきましょう。



そうかなぁ。先生がそういうのなら、とりあえず、高校に入学した後、一回、顔を見せに来るね。

高校に入ってから、Bさんはカウンセリングルームを訪ねてきました。



やっぱり、高校に入ると授業に人間関係に色々大変だった。  
毎週じゃなくていいから、1ヶ月に1回くらい相談に来たいな。  
今までの自分のことをわかってきているところだったら、相談しやすいかな。

そこで、Bさんは、今まで相談していた機関で継続して相談を行う**フォローアップカウンセリング (P17参照)** を利用し、再び不適應状態におちいらないよう、フォローを受けることにしました。

そこで、**居場所支援 (P18~19参照)** を利用することにしました。

居場所支援の利用を開始し、少しずつ緊張せずに輪の中に入っていけるようになり、雑談ができる仲間もできました。



少し集団に慣れてきたし、少人数なら大丈夫だと思う。  
進学も考えるようになってきたから、大学もいけたらいいと思う。全日制は自信がないけど通信制の高校なら行けるかも。

通信制の高校に入学することに決めましたが、一人で勉強を続ける自信がありません。



そこで、**通信制高校サポート校 (P20参照)** を利用することにしました。

通信制高校サポート校を利用しながら、現在は進学を目指しています。生活リズムもずいぶん安定してきました。少し自信がついた気もしています。



抱えていた問題も大分解決できたと思うけど、時々不安になるし、どうしたらいいのか迷うことがある。  
困ったときにでも、相談できたらいいな。



そこで、A君は、**フォローアップカウンセリング (P17参照)** を利用し、再び不適應状態におちいらないよう、フォローを継続して受けることにしました。

### 3 自宅にひきこもっているC君のケース

中学の頃より不登校で、中学卒業後の進路が決まらず、そのまま自宅にひきこもっているC君。ひきこもり始めてもう1年ほど経ちますが、ほとんど外に出ることはなく、人との関わりも避けています。家族がそのことを指摘すると、興奮し、暴れることもあります。



C君の母親

一日中、部屋にひきこもっていてほとんど出てきません。部屋で何をしているかもわからないし、心配です。  
この子の将来のことを考えると、不安でいっぱいです。そのことについて話そうとすると怒って暴れることもあります。どうしたらいいかわかりません。  
どこに相談すればいいのでしょうか？



養護教諭

医療機関やNPO法人、民間の相談機関、精神保健福祉センターなどでひきこもりに関する相談を受け付けています。  
まずは家族だけでも相談を受けてくれるところをおすすめします。

C君の母親は、民間のカウンセリングルームに相談に行き、**コンサルテーション (P17参照)**を受けました。

数回の相談の後、家から出られないC君への支援として、まずは**訪問カウンセリング (P18参照)**から始めることにしました。



相談員

C君、こんにちは。相談員です。  
別にC君を部屋から出しにきたわけではありません。  
どんなことでもいいので少しお話しませんか？



C君

相談員？そんな人と話すことなんかない。  
ほっといてくれ。もうどうしようもないんだ。  
誰とも話したくない。

最初は拒否的で、部屋のドアも開けないC君でしたが、相談員が定期的に訪問を続けた結果、相談員と会って話をしたり、一緒にゲームをしたりするようになりました。また、少しずつ相談員に悩みや不安を話すようになりました。



今のままではいけないと思うけど、どうしたらいいかわからない。  
外に出てみたい気持ちもあるけど、誰かに会いそうで一人では不安。



そうですね。確かにこれからのことを考えると色々なことが不安に感じますね。  
「外に出てみたい」という気持ちはあるのですね。どうでしょう？一緒に少し外に出てみませんか？

C君は、相談員と一緒に少しずつ外に出られるようになりました。何度か相談員との外出を重ねるうちに、一人でコンビニに買い物に行ったり、ゲーム屋に欲しいソフトを見に行ったりできるようになりました。そこで、次のステップとして相談員のいる施設での**定期カウンセリング (P17参照)**を受けることにしました。



だいぶ外に出られるようになってきたけど、まだ昼間家にいる時間が長い。親は何も言わないけど、居づらい気がする。  
これからどうするかはまだよくわからないけど、少しでも話せる友達ができたらと思う。

定期カウンセリングを重ねるうちに1人で外出する機会も増え、他の人にも関心を持つようになり、友達も欲しいと思うようになってきました。そこで、**居場所支援 (P18~19参照)**を利用し、日中の居場所の確保と同年代との交流を始めました。次第に毎日通うようになり、ひきこもりの状態は改善していきました。

# 5 支援機関の紹介

子どもの年齢や所属に応じた支援機関を紹介します。

## 1 学校に所属している人が利用できる支援者・支援機関

### (1) 学校内での支援者・支援機関

校長、担任、養護教諭、  
生徒指導等教諭 など

児童生徒や保護者の窓口になり、校内で連携・  
協働し、問題に対応

スクールカウンセラー

児童生徒や保護者へのカウンセリング、心理査  
定、コンサルテーション

スクールソーシャルワーカー

児童生徒と環境（家庭、学校、地域）への働き  
かけ

相談員、訪問指導員、  
メンタルサポーター など

児童生徒や保護者の相談相手

### (2) 学校外の支援機関

教育相談室

（教育委員会運営・設置。公立の小中学生及び  
その家族が対象）学校や家庭での悩み、教育に  
関する相談、関係機関への紹介

教育支援センター  
（適応指導教室）

（公立の小中学生対象）不登校児童生徒の日中  
の居場所、活動・学習の場

学習支援センター

（県内の高校生対象）不登校児童生徒の日中の  
居場所、活動・学習の場



## 2 誰でも利用できる支援機関

### (1) 公的機関

精神保健福祉センター

こころの健康や精神医療などに関する相談

少年サポートセンター

- ① 非行などの問題行動に関する相談
- ② 犯罪などの被害に関する相談

保健所

こころの健康に関する相談

市役所の児童家庭課

児童の健康・発達に関する相談

児童相談所

- （18歳未満の児童およびその家族が対象）
- ① 養育相談
- ② こころや体の相談など子どもに関する相談
- ③ 子どもの一時保護や施設入所 など

子ども家庭支援センター

- ① 子ども・家庭等に関する相談
- ② 関係機関との連携
- ③ 24時間対応

市役所の福祉課

障害福祉に関わる情報提供や支援

障害者支援センター

障害に関する相談や支援

ハローワーク  
若者サポートステーション

就労に関する相談や支援



(2) 民間機関

医療機関



- ① 小児科 . . . . . 内科を中心とした子ども（生まれてすぐの新生児から中学生までが目安）の疾患全般を診療する。中には、発達障害などのこころの問題も診療するところもある。
- ② 心療内科 . . . . . こころの問題により身体に表れる病気（過敏性腸症候群、緊張性頭痛、機能性胃腸症など）を主に診療する。
- ③ 精神科 . . . . . 精神疾患（統合失調症、うつ病、強迫性障害など）を主に診療する。

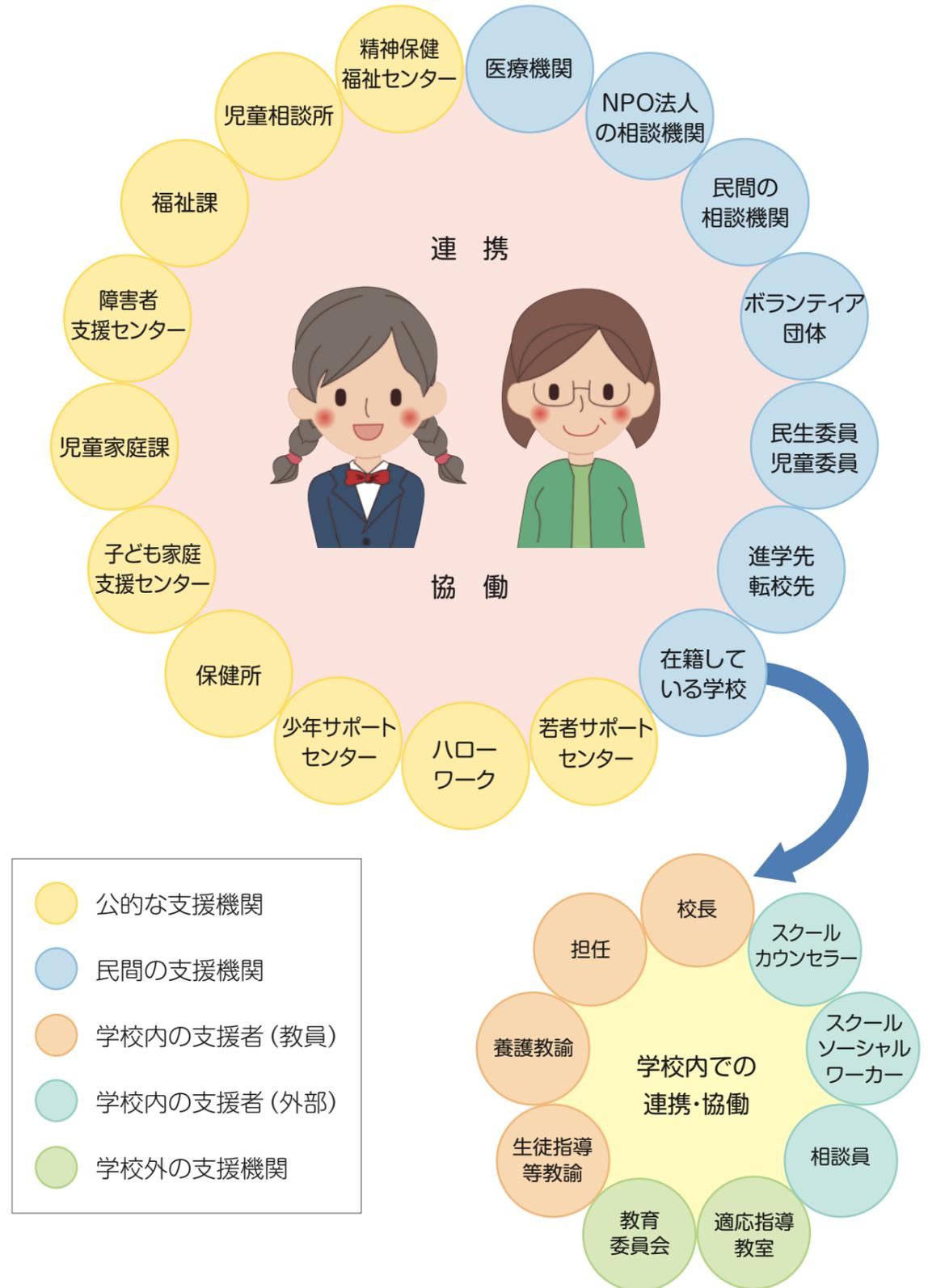
※思春期事例を取り扱っており、両親だけでの相談も可能な機関が望ましいでしょう。

NPO法人や民間の相談機関、各種ボランティア団体など

- ① 親の会 . . . . . 不登校児童生徒の保護者が中心に活動する親（家族）の会
- ② カウンセリングルーム . . . . . 個別面談、家族面談などの相談
- ③ サポート校 . . . . . 児童生徒への学習・進学支援
- ④ フリースクール . . . . . 不登校児童生徒の日中の居場所
- ⑤ 民生・児童委員 . . . . . 地域のボランティアとしての相談相手、関係機関への連絡



3 支援機関の連携・協働



## 6 代表的な支援者&支援機関の役割

### 養護教諭とは

ケガや病気の処置だけでなく、児童生徒・保護者のさまざまな悩みに対応します。また、保護者や学校（担任）の間に入って連絡を取り合ったり、外部からの支援者（スクールカウンセラーなど）と連携したり、児童生徒・保護者の抱える問題解決のためのコーディネーターとしての役割も担っています。

### スクールカウンセラーとは

児童生徒・保護者へのカウンセリングや心理検査、教師・保護者のコンサルテーションなどを行っています。

#### ●主な相談内容

- ①児童生徒からの相談：友人関係・家庭の問題、進路、不登校など
- ②保護者からの相談：子どもとの関わり方、家庭での問題  
不登校など
- ③教師からの相談：生徒理解に関すること、指導・援助の方法、保護者との連携の進め方など

### 教育支援センター（適応指導教室）とは

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰のための指導や援助を行う公的機関です。スポーツや調理実習などの体験的活動や学習指導、不登校児童生徒に関して個別相談などを行っています。

適応指導教室に通級した日は、在籍校に出席したことになります。

### 学習支援センターとは

不登校や在学学校での学習に悩む高校生を対象とした支援機関です。高校に在籍したまま学習支援を受け、在学学校への復帰を目指すことができます。また、進路変更の相談にも応じています。学習面のサポートとともに生徒・保護者へのカウンセリングも行っています。

### スクールソーシャルワーカーとは

子どもを取り巻く環境に働きかけ、子どもの気持ちを代弁したり、学校との間に立って調整や仲介をしたりします。

また、支援ケース会議を通して、学校内あるいは学校外の関係機関と連携して支援を行います。

### 児童相談所とは

18歳未満の子どもおよびその家族に対して、児童福祉司などの専門員が、家族や地域、学校などと連携しながら問題解決に取り組みます。子どもの一時保護や施設入所なども行っています。

#### ●主な相談内容

- ①養育相談 ②虐待問題 ③しつけや性格・行動面の相談
- ④こころやからだの発育相談 ⑤非行問題 ⑥里親相談 など



# 7 支援機関の利用事例

支援方法や支援機関は様々です。実際によく見られるケースをいくつかご紹介します。

## 1 不登校傾向がみられるDさんのケース

人との関係を築くことが苦手で、中学校の時に不登校経験のあるDさん。中学校時は、周囲の助けもあり、なんとか卒業することができました。私立高校に進学しましたが、しばらくして学校に行けない日が続いています。



母親

せっかく頑張って中学校を卒業して、高校に進学したのに、また行けなくなって…。  
子どもに対して、どう接していいかわかりません。  
高校に入ったら、周りも知らない人ばかりで、誰に相談すればいいんでしょう。



学校での相談相手として、**養護教諭 (P28、32参照)**、**スクールカウンセラー (P28、32参照)** などがいます。

まず、Dさんの母親は、養護教諭にDさんの今の状態を相談しました。



相談を受けた養護教諭は、より専門的な支援を提供するために、Dさんの母親にスクールカウンセラーを紹介しました。

Dさんの母親は、どのように子どもに接したらいいかなど、今抱えている不安や悩みについて、スクールカウンセラーに相談することができました。



スクールカウンセラーは、担任へのコンサルテーションを行い、情報共有や今後の対応に取り組みました。

スクールカウンセラーの働きかけにより、Dさんの母親と担任は、Dさんへの対応について定期的話し合いの場を持つようになりました。その中で、Dさんの母親は、担任から**学習支援センター (P28、32参照)** の話を聞き、Dさんに勧めてみました。



Dさん

今はまだ学校には行けないけれど、そこにだったら行ってみようかな。

そこで、Dさんは学習支援センターを利用することになりました。



数ヵ月後、エネルギーが回復したDさんは、別室登校を経て、学校に復帰することが出来ました。

## 2 虐待の疑いがみられるE君のケース

中学3年生のE君。遅刻が多く、生活は昼夜逆転しているようです。

身だしなみも整っておらず、食事也十分ではないようです。夏休み明けからは、無断欠席も見られるようになりました。



先生

遅刻や無断欠席も増え、昼食を食べないことが多くて…。  
電話しても本人や家族に連絡がとれなくて、家庭で何かあってるんじゃないかと心配です。



担任はこの件について学校で話し合い、教育委員会に**スクールソーシャルワーカー** (P28、33参照) の派遣を要請しました。

この件を受けたスクールソーシャルワーカーは、E君宅を家庭訪問することになりました。



その結果、E君に対する虐待(育児放棄)の疑いが強まり、スクールソーシャルワーカーは**児童相談所** (P29、33参照) に通報し、E君は児童相談所に一時的に保護されました。

その間、スクールソーシャルワーカーや児童相談所では、家庭状況を把握し、保護者に対する支援や指導を行いました。経済的な問題などが解決され、家庭機能が回復したため、E君は自宅に戻りました。



虐待の再発を防ぐために、その後もスクールソーシャルワーカーが定期的にE君宅を家庭訪問することになりました。

色々な専門機関とつながっていることで、E君とその家族は、困った時に適切なサポートを受けることが可能となり、E君は健康的な生活を送るようになりました。

### 〈思春期の精神疾患の診療を行っている医療機関〉

医療機関名	住所	電話[FAX]	診療内容
公立玉名中央病院	玉名市中1950	0968-73-5000 [0968-73-2867]	●小児科(救急指定で24時間対応)
大牟田保養院	大牟田市黄金町1丁目178	0944-52-3012 [0944-52-3081]	●精神科
おか医院	大牟田市大字今山3444	0944-56-5566	●心療内科(思春期診療可)
甲斐病院	柳川市筑紫町60-1	0944-73-1217 [0944-72-1763]	●精神科、心療内科(思春期診療可)
倉永病院	大牟田市大字吉野843	0944-58-1211 [0944-58-1218]	●精神科
米の山病院	大牟田市今山2324-1	0944-51-3311 [0944-51-3340]	●小児科
米の山病院附属中央診療所	大牟田市笹林町2-6-3	0944-52-4198 [0944-51-5024]	●小児科
不知火病院	大牟田市大字手鎌1800	0944-55-2000 [0944-51-4005]	●精神科
高木病院	大川市大字酒見141-11	0944-87-0001 [0944-87-9310]	●心療内科にて思春期の心身症の診察 ●臨床心理士によるカウンセリング
第二病院	大牟田市下池町29	0944-52-8881 [0944-52-6660]	●精神科
中友診療所	大牟田市西浜田町15-3	0944-53-5009 [0944-53-5009]	●小児科、精神科
メンタルクリニック滴水苑	大牟田市大字今山3444	0944-56-5566 [0944-56-5536]	●精神科
三池病院	大牟田市大字三池855	0944-53-4852 [0944-53-0117]	●精神科
みさき病院	大牟田市岬町1230	0944-54-0111 [0944-54-0109]	●小児科、精神科
ヨコクラ病院	みやま市高田町濃施394	0944-22-5811 [0944-22-2045]	●小児科、心療内科(思春期心療可)
荒尾こころの郷病院	荒尾市荒尾1992	0968-62-0657 [0968-62-2565]	●精神科、心療内科(児童思春期、発達障害)
有働病院	荒尾市万田475-1	0968-62-1138 [0968-64-3410]	●精神科
玉名病院	玉名市築地1452-3	0968-72-5155 [0968-73-4871]	●思春期の相談はHPで受付 HP: <a href="http://www.estr.co.jp/tamanahp/">http://www.estr.co.jp/tamanahp/</a>
野ばら診療所	荒尾市野原1585-9	0968-68-6337 [0968-68-1092]	●小児科、心療内科、精神科

### 〈発達障害児・者への支援を行っている機関〉

機関名	住所	電話[FAX]	支援内容
福岡県発達障害者支援センター あおぞら	八女郡広川町一 1363-1	0942-52-3455 [0944-53-0621]	●相談支援 ●発達支援 ●就労支援 ●啓発、研修事業
みのうクリニック	久留米市善導寺町飯田908-7	0942-47-6200	●発達障がい外来 ●子ども心療外来

### 〈子育て支援を行っている機関〉

機関名	住所	電話[FAX]	支援内容
大牟田市役所保健福祉部 児童家庭課 家庭児童相談室	大牟田市有明町2丁目3番地	0944-41-2684 [0944-41-2664]	●子育て支援 ●不登校に関する相談
荒尾市役所 子育て支援課 家庭児童相談室	荒尾市宮内出目390番地	0968-63-1417 [0968-62-2881]	●学校での問題に関する相談 ●児童虐待に関する相談
玉名市役所 子育て支援課 家庭児童相談室	玉名市繁根木163	0968-75-1410 [0968-73-2362]	●家庭内の問題に関する相談 など

機 関 名	住 所	電 話[FAX]	支 援 内 容
南筑後保健福祉環境事務所 健康増進課精神保健係	柳川市三橋町大字今古賀8-1 柳川総合庁舎内	0944-72-2176 [0944-74-3295]	●「こころの健康相談」 平日8:30～17:15
有明保健所	玉名市岩崎1004-1	0968-72-2184 [0968-74-1721]	●こころの健康に関する相談 ●子どもや子育てに関する相談

〈子どもに関する問題(非行・虐待など)への支援を行っている機関〉

機 関 名	住 所	電 話[FAX]	支 援 内 容
大牟田市児童相談所	大牟田市西浜田町4-1	0944-54-2344 [0944-54-2374]	●子どもに関する相談、心理査定、 カウンセリング ●子どもの一時保護や施設入所 ●24時間体制の電話相談
熊本県中央児童相談所	長嶺南2丁目3番3号	096-381-4451 [096-381-4412]	●発達の遅れ、虐待、非行、 ひきこもりなどの相談
福岡県警久留米少年サポートセンター 「ハートケアくるめ」	久留米市諏訪町1830-6 えーるピア久留米3階	0942-30-7867 [0942-30-7867]	●少年に関する相談(非行、学校問題など)
子ども家庭支援センター あまぎやま	大牟田市甘木1158	0944-58-6636 [0944-58-6662]	●育成相談(不登校、子育て等) ●障害相談 ●養護・非行相談 など
児童家庭支援センター 「キッズケアセンター」	荒尾市荒尾4110	0968-62-0222 [0968-62-0231]	●児童の健康・発達についての相談 (緊急時は24時間対応)
柳川市役所 柳川庁舎 子育て支援課 相談係	柳川市本町87-1	0944-77-8524 [0944-73-9211]	●子どもの不登校や虐待などの相談
有明保健所	玉名市岩崎1004-1	0968-72-2184 [0968-74-1721]	●こころの健康に関する問題 ●子育てや子どもの問題に関する相談
肥後っ子サポートセンター	熊本市水前寺6丁目18番地1 熊本県警察本部少年課内	096-384-4976 [096-384-4976]	●少年問題に関する相談 ●被害少年に対する継続的な支援活動

〈公立の小中学校を対象に支援を行っている機関〉

機 関 名	住 所	電 話[FAX]	支 援 内 容
南筑後教育事務所	筑後市和泉423	0942-53-7524 [0942-53-7527]	●児童生徒相談室(高校生も可) ●教職員カウンセリング
大川市教育委員会 教育相談室	大川市大字酒見221-11	0944-87-7970 [ 同 上 ]	●学校や家庭でのこころの悩みの相談 ●子育てや教育上の問題解決の支援 ●各学校との連携 ●関係機関への紹介・連絡調整 (公立の小中学生とその家族が対象)
大牟田市教育委員会	大牟田市有明町2丁目3番	0944-41-2860 [ 同 上 ]	
大牟田市教育委員会 教育相談室	大牟田市黄金町1-34	0944-52-4113	
みやま市教育委員会 教育相談室	みやま市高田町濃施480 みやま市役所高田支所別館2F	0944-22-6536 [ 同 上 ]	
柳川市教育委員会 教育研究所相談室	柳川市三橋町正行431	0944-74-5955 [ 同 上 ]	
荒尾市教育委員会	荒尾市宮内出目390	0968-63-1659 [0968-62-2881]	
玉名市教育委員会	玉名市岱明町野口2129	0968-57-4442 [0968-57-4419]	
玉名教育事務所	玉名市岩崎1004-1	0968-74-2148 [0968-74-2111]	

〈不登校児への学習支援を行っている機関〉

機 関 名	住 所	電 話[FAX]	支 援 内 容
適応指導教室 昭和教室	大牟田市黄金町1丁目34 生涯学習支援センター内	0944-55-3040 [ 同 上 ]	●学習支援
適応指導教室 さくら	みやま市高田町濃施480	0944-64-2102 [0944-22-6572]	●教育相談 ●野外活動
適応指導教室 ありあけ	柳川市大和町鷹ノ尾151-2	0944-76-1216 [0944-76-1286]	●その他適応指導 など
小岱教室	荒尾市荒尾4110-2 荒尾市民プール内	0968-64-2865 [0968-64-2865]	●不登校児童生徒への学習指導や援助 ●小集団での活動や体験活動 など

〈通信制・単位制高等学校のサポート校〉

機 関 名	住 所	電 話[FAX]	支 援 内 容
クラーク記念国際高等学校 久留米キャンパス あすなる	久留米市天神町2-56	0942-35-4943 [0942-48-0110]	●単位制高等学校 ●全日型週5日制
クラーク記念国際高等学校 熊本キャンパス 清和国際高等学園	熊本市新大江1-27-2	096-371-6332 [096-371-6532]	●全日制総合学科と単位制サポート科に 合わせて6つのコースを設定 ●不登校経験者のための登校支援プログラム
さくら高等学校 久留米学習相談センター	久留米市通町111-18 2F	0942-36-8833 [0942-36-8873]	●高校不登校、退学者等の高卒資格取得 ●ペース、レベルに合わせた学習支援 ●新入学、転入学、編入学に対応

〈不登校・ひきこもり支援を行っている機関〉

機 関 名	住 所	電 話[FAX]	支 援 内 容
福岡県精神保健福祉センター	春日市原町3-1-7 2F	092-582-7530 [092-582-7505]	●ひきこもり、不登校などの 青少年の心の悩み相談
熊本県精神保健福祉センター	熊本市月出3丁目1-120	096-386-1166 [096-386-1256]	●こころの健康に関する相談
KHJ福岡 楠の会 くすのわかば	福岡市中央区春吉1丁目7-18 竹内ビル2F	092-731-3091 [090-8222-7403]	●ひきこもり支援 ●自助グループ
NPO法人 熊本ランチ	熊本市花園7-2435-12	096-324-3068	●ひきこもりやその親の支援活動 ●コミュニティー活動としての居場所 (各種行事) ●電話相談(毎週土曜日4時～17時) ●メール相談 ●訪問活動(電話予約)
大牟田 学校に行かない子 を持つ親の会「ふきのとう」	大牟田市内の公民館などで 開催	090-2087-4174	●自助グループ ●悩み相談 ●専門家を交えた情報交換

〈就労支援を行っている機関〉

機 関 名	住 所	電 話[FAX]	支 援 内 容
ハローワーク大牟田	大牟田市大正町6丁目2-3	0944-53-1551 [0944-54-1540]	●若年者の職業相談や紹介 ●就労支援 ●職業訓練 など
ハローワーク大川出張所	大川市大字小保614-6	0944-86-8609 [0944-86-3722]	
ハローワーク玉名	玉名市中1334-2	0968-72-8609 [0968-72-4150]	
久留米若者サポートステーション	久留米市諏訪野町2363-9 サンライフ久留米2F	092-739-3405 [092-739-3408]	●若者の自立支援 ●カウンセリング ●就労体験 ●グループワーク など
福岡県若者サポートステーション	福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラ12F	092-739-3405 [092-739-3408]	
たまな若者サポートステーション	玉名市中48-4番地	0968-74-0007 [ 同 上 ]	●若者の就職自立支援 (プログラム作成、カウンセリング 自宅訪問・セミナー など)

〈ソフィア〉

機 関 名	住 所	電 話[FAX]	支 援 内 容
カウンセリングルーム フリースクール サポート校 ソフィア	大牟田市原山町1-6 3F	0944-52-8889 [0944-52-8893]	●居場所支援 ●学習支援 ●通信制高校サポート校 ●カウンセリング ●ひきこもり支援 など

# 9 文献

- L. ワイス, M. カッツマン, S. ウォルチック, 末松弘行.  
1991. 『食べたい!でもやせたい 過食症の認知行動療法』. 星和書店
- 佐藤修策、藤土圭三. 1993. 『現代教育臨床心理学要説』. 北大路書房
- 下山晴彦 (編). 1998. 『教育心理学 2 発達と臨床援助の心理学』. 東京大学出版会
- 倉本英彦. 2002. 『社会的ひきこもりの援助』. ほんの森出版
- 傅田健三. 2002. 『子どものうつ病』. 金剛出版
- 森口秀志、川口和正、奈浦なほ. 2002. 『ひきこもり支援ガイド』. 晶文社
- 山崎晃資. 2002. 『現代 児童青年精神医学』. 永井書店
- 山田和男. 2002. 『心の病気と薬がわかる本』. 主婦と生活社
- 融道男. 2002. 『ICD-10』. 医学書院
- 小此木啓吾、深津千賀子、大野裕 (編).  
2004. 『改訂 心の臨床家のための精神医学ハンドブック』. 創元社
- 武藤清栄、渡辺健. 2004. 『訪問カウンセリング 危機に立ち臨み語るころ』. 至文堂
- Gavin Andrews, Andrew Page, Rocco Crino, Lisa Lampe, Mark Creamer, Caroline Hunt, 古川 壽亮.  
2004 『不安障害の認知行動療法 <2> 社会恐怖 - 患者さん向けマニュアル』. 星和書店
- 小林正幸. 2005. 『事例に学ぶ 不登校の子への援助の実際』. 金子書房
- 忠井俊明、本間知巳. 2006. 『不登校・ひきこもりと居場所』. ミネルヴァ書房
- 磯部潮. 2007. 『不登校・ひきこもりの心がわかる本』. 講談社
- 鍋田恭孝. 2007. 『思春期臨床の考え方・すすめ方』. 金剛出版
- 久田邦明. 2007. 『子どもと若者の居場所』. 萌文社
- 精神科治療学編集委員会 (編).  
2008. 『児童・青年期の精神障害治療ガイドライン』. 星和書店
- 高橋良臣、織田貴裕. 2008. 『悩みすっきり 不登校・高校中退からの進路選択』.  
北樹出版
- 門田光司、松浦賢長. 2009. 『不登校・ひきこもりサポートマニュアル』.  
少年写真新聞社
- 文部科学省. 2009. 『教師が知っておきたい子どもの自殺予防』
- 内閣府. 2010. 『若者の意識に関する調査 (ひきこもり実態調査)』
- 日本社会福祉士会.  
2010. 『ソーシャルワーク視点に基づく就労支援実践ハンドブック』. 中央法規
- 文部科学省. 2010. 『児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査』
- 樋口輝彦、野村総一郎. 2010. 『こころの医学事典』. 日本評論社
- オクムラ書店. 2011. 『中学卒・高校中退からの進学総ガイド』. オクムラ書店

# 10 索引

## あ 行

- アスペルガー症候群 …………… 5
- 居場所支援 …………… 3, 18, 19, 24, 27
- 医療機関 …………… 18, 23, 26, 30, 37
- うつ病 …………… 5, 10, 30
- SST …………… 19
- 親の会 …………… 30, 39

## か 行

- カウンセリング …………… 16, 32, 37, 38
- カウンセリングルーム …… 18, 26, 30, 39
- 学習支援センター …………… 28, 32, 35
- 学習障害 …………… 5
- 過食 …………… 9, 13
- 家族会 …………… 19
- 技能講習 …………… 21
- 教育委員会 …………… 38
- 教育支援センター …………… 28, 32
- 教育相談室 …………… 28, 38
- 強迫性障害 …………… 5, 7, 30
  - 強迫観念 …………… 7
  - 強迫行為 …………… 7
  - 強迫症状 …………… 7
- 拒食 …………… 9
- 高卒の資格 …………… 20
- 広汎性発達障害 …………… 5
- 子育て支援 …………… 37, 38
- 子ども家庭支援センター …… 29, 38
- コンサルテーション …… 17, 26, 32

## さ 行

- サポート校 …………… 30, 39
- 自殺 …………… 14
- 思春期 …………… 4, 37
- 自傷行為 …………… 5, 13, 14
- 児童家庭課 …………… 29, 37
- 児童相談所 …… 18, 23, 29, 33, 36, 38
- 自閉症 …………… 5
- 社会恐怖 …………… 8
- 就労支援 …………… 3, 21, 39
  - 就労訓練 …………… 21
  - 就労体験 …………… 21
- 障害者支援センター …………… 29
- 小児科 …………… 30, 37
- 少年サポートセンター …… 29, 38
- 職業訓練校 …………… 22
- 神経性大食症 …………… 9
- 神経性無食欲症 …………… 9
- 心療内科 …………… 15, 30, 37
- スクールカウンセラー …… 28, 32, 34
- スクールソーシャルワーカー 28, 33, 36
- ストレス …………… 6
- 精神科 …………… 15, 30, 37
- 精神保健福祉センター …… 26, 29, 39
- 摂食障害 …………… 9
- 専門家 …………… 15
- 専門機関 …………… 15
- 相談機関 …………… 15, 23, 26, 30, 37

## た 行

- チック …………… 5  
注意欠陥多動性障害 …………… 5  
通信制高校 …………… 20  
通信制高校サポート校 … 3, 20, 24, 39  
定期カウンセリング …… 3, 17, 23, 27  
適応指導教室 …………… 19, 28, 32, 38  
適応障害 …………… 6  
統合失調症 …………… 11, 30  
トラウマ …………… 12  
    トラウマ体験 …………… 12  
    トラウマ反応 …………… 12

## な 行

- 二次障害 …………… 5

## は 行

- 発達障害 …………… 5, 30, 37  
パニック障害 …………… 8  
    パニック発作 …………… 8  
ハローワーク …………… 29, 39  
PTSD …………… 12  
ひきこもり …………… 6, 10, 18, 26, 39  
フォローアップカウンセリング 3, 17, 24, 25  
福祉課 …………… 29  
不登校 …… 3, 5, 6, 10, 23, 25, 34, 39  
フリースクール …… 18, 19, 20, 30, 39  
訪問カウンセリング …………… 18, 26  
保健所 …………… 29, 38

## ま 行

- 民生・児童委員 …………… 30  
むちゃ食い障害 …………… 9

## や 行

- 養護教諭 …………… 28, 32, 34  
抑うつ評価尺度 …………… 10

## わ 行

- 若者サポートステーション …… 22, 29, 39